2023年度
環境経営レポート

エコアクション21
認証番号0011482

対象：2023年 1月 ～ 12月

発行日：2024年 2月 29日
改訂日：2024年 3月 27日

古い町並み(春)

MARUTAKE
有限会社丸武産業

― 目 次 ―

1　環境経営方針 ..... P 1

2　会社概要 ..... P 2

3　環境経営組織図及び役割・責任・権限表 ..... P 8

4　環境経営目標及び実績 ..... P 8

5　2023年 環境経営計画 ..... P 9

6　環境経営計画の取組結果及び評価、次年度の取組内容 ..... P 10

7　代表者による全体評価と見直し・指示 ..... P 15

8　環境関連法規の遵守状況、法違反、訴訟等の有無 ..... P 15

9　その他の活動 ..... P 16

1　環境経営方針

環境経営方針

基本理念

有限会社丸武産業 は、各種法令を遵守、且つ確かな技術による分別解体や産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業が資源循環型社会の実現に大きな役割を果たすと考えます。安全と地球環境への配慮を最優先し産業廃棄物を有効資源に活用すべく、適正に選別・処理・再生・再利用することで環境問題に取り組んでまいります。

行動指針

1. 電力、燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物の削減及びリサイクルの促進に努めます。
3. 環境関連法規、条例及びその他の規制を遵守します。
4. 従業員への安全教育により、環境保全や安全作業に努めます。
5. 地域社会とのコミュニケーションを図ります。
6. 環境への取組みを継続的に見直し、改善することに努めます。

環境経営方針は、全従業員に周知させ環境意義の向上に努めます。

2015 年 10 月 1 日制定
2020 年 10 月 1 日改定(3)

有限会社 丸武産業
代表取締役 杉下 勝司

2　会社概要

■ 事　業　者　　有限会社　丸武産業

■ 代 表 者 名　　代表取締役　　杉下　勝司

■ 所 在 地 ・ 施設の住所

本社・工場	岐阜県高山市丹生川町町方3480番地1	9,974 ㎡
機材センター	岐阜県高山市松之木町1245番地5	2,665 ㎡
資材置場	岐阜県高山市大洞町50	13,258 ㎡

■ 環境保全関係責任者

環境管理責任者　　取締役 総務部長　　杉下　裕子
環境管理事務局　　野首　宝賀子

■ 連 絡 先 等

TEL ： 0577-78-2555　　FAX ： 0577-78-3053
E-mail ： info@marutakesangyo.jp
URL ： http://www.marutakesangyo.jp/

■ 事 業 内 容

産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業(中間処理)
総合建築物解体工事業

■ 設立年月日　　1996年 1月 9日　　(創業年月日　1982年 7月 1日)

■ 資　本　金　　300万円

■ 年　　度　　1月 ～ 12月

■ 売　上　高　　610百万円

■ 環境負荷項目の推移

項　目		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		246,898	282,940	266,354
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量 (t)	1,863	6,665	4,944
	中間処理量 (t)	4,044	4,114	3,305
	最終処分量(委託) (t)	1,746	1,932	1,581

■ 人　　員　　23 名

■ 許可内容

【産業廃棄物処分業(中間処理)】

許可区域	当初許可年月日	許可番号	(許可年月日) 有効期限	中間処理	許可の内容													
					廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス	コンクリ	陶磁器	がれき類	燃え殻	汚泥	廃油	鉱さい
岐阜県	平成15年1月27日	02121037800	(令和4年1月25日) 令和12年11月27日 －優良認定－	破砕・分別	－	－	－	－	－	－	○ 石膏ボードのみ			－	－	－	－	－
				選別	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎
				破砕	○	○	○	○	－	－	○			○	－	－	－	－
				圧縮梱包	○	○	－	○	－	○	－			－	－	－	－	－

※ 上記品目は石綿含有産業廃棄物であるものを除く。
※「◎」= 水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。

【産業廃棄物収集運搬業】

許可区域	当初許可年月日	許可番号	(許可年月日) 有効期限	許可の内容													
				燃え殻	汚泥	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス	コンクリ	陶磁器	がれき類	廃油	鉱さい
岐阜県	平成8年3月4日	02111037800	(令和4年1月25日) 令和12年11月27日 －優良認定－	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●
				積替保管含む												－	－
三重県	平成18年4月24日	02400037800	(令和3年7月2日) 令和8年4月23日	－	－	○	○	○	○	○	○		○		○	－	－
愛知県	平成22年8月17日	02300037800	(令和2年8月17日) 令和7年8月16日	－	－	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎	－	－
富山県	平成23年4月11日	01603037800	(令和4年3月8日) 令和8年4月10日	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●
新潟市	平成22年8月30日	05902037800	(令和2年8月30日) 令和7年8月29日	－	－	○	○	○	○	○	○		○		○	－	－

※「●」= 石綿含有産業廃棄物を含む。水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。
※「◎」= 水銀使用製品産業廃棄物を含む。

【一般建設業】

許可区域	当初許可年月日	許可番号	(許可年月日) 有効期限	許可の内容
岐阜県	平成9年3月27日	(般-3) 第 850035 号	(令和4年3月27日) 令和9年3月26日	とび・土工工事業、解体工事業

【使用済金属類営業】

許可区域	当初許可年月日	許可番号	(許可年月日) 有効期限	許可の内容
岐阜県	平成25年10月18日	531230001	(平成25年10月18日) 令和10年10月17日	使用済金属類の営業

■ 施設等の状況

【主な工場施設】

・ 石膏ボード処理前保管施設	1 棟	・ 出荷前保管施設	1 棟
・ 計量器	1 棟	・ 機材センター(建物 975㎡)	1 棟
・ 石膏ボード破砕施設	1 棟	・ 資材置場	4 筆
・ 第一選別工場及び保管施設	1 棟		
・ 第二選別工場及び保管施設	1 棟		
(積替保管施設含む)			

【積替保管施設】

所 在 地	岐阜県高山市丹生川町町方3480番地1 外4筆		
保 管 面 積	21.63 m2	保 管 上 限	51.07 m3
産業廃棄物の種類		高 さ	該当なし
燃え殻、汚泥、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)、ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)、がれき類 上記10品目は石綿含有産業廃棄物であるものを含む。 以上 10種類 上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含む。			

【処理施設】

施 設	設置年月日	産業廃棄物の種類	処理能力
① 破砕・分別施設 (破砕・分別機)	2002年12月24日	石膏ボード	16 t / 日 (2 t / 時間)
② 破砕施設1 (破砕機)	2004年3月4日	廃プラスチック類	3.2 t / 日 (0.4 t / 時間)
		紙くず	3.1 t / 日 (0.39 t / 時間)
		木くず	4.3 t / 日 (0.54 t / 時間)
		繊維くず	2.2 t / 日 (0.27 t / 時間)
③ 圧縮梱包施設 (圧縮梱包機)	2006年3月24日	廃プラスチック類	3.15 t / 日 (0.394 t / 時間)
		紙くず	4.3 t / 日 (0.538 t / 時間)
		繊維くず	3.86 t / 日 (0.483 t / 時間)
		金属くず	3.25 t / 日 (0.407 t / 時間)
④ 選別施設 (ベルトコンベア選別機・トロンメル選別機)	2006年2月2日	廃プラスチック類 、紙くず 、木くず 、繊維くず 、ゴムくず 、金属くず 、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 、がれき類、燃え殻、汚泥、廃油、鉱さい	276 m3 / 日 (34.5m3 / 時間)
⑤ 破砕施設2 (破砕機)	2010年3月24日	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4.56 t / 日 (0.57 t / 時間)
		がれき類	4.56 t / 日 (0.57 t / 時間)
⑥ 移動式破砕施設 (移動式破砕機)	2010年3月24日	PVC	2.1 t / 日 (0.258 t / 時間)

【収集運搬許可車両】

	車両形状		最大積載量 (kg)	車両寸法 全長×幅×高さ(m)	低燃費車	低排出ガス車
1	22tダンプ	脱着装置付コンテナ専用車	10,600	9.08×2.49×3.66	○	○
2	10tダンプ	ダンプ	7,100	7.67×2.50×3.30	×	×
3	10tダンプ	ダンプ	8,600	7.64×2.49×3.29	○	○
4	10tセルフ	キャブオーバ	7,500	10.41×2.5×3.3	×	×
5	8t クレーン付きアームロール	脱着装置付コンテナ専用車	4,950	7.53×2.2×3.04	×	○
6	4tダンプ	増tダンプ	4,350	7.56×2.23×2.85	○	○
7	4tダンプ	ダンプ	2,500	7.84×2.25×3.0	×	○
8	4t アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	3,800	5.98×2.19×2.47	○	○
9	4t アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	3,750	5.98×2.2×2.46	○	○
10	4t 掴み機付アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	2,450	6.92×2.18×3.49	×	×
11	2tダンプ	ダンプ	2,000	5.08×1.7×2.30	×	×
12	2tダンプ	ダンプ	2,000	4.69×1.69×1.99	×	×
13	2t アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	2,000	4.39×1.69×1.96	×	○
14	2t アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	2,000	4.48×1.69×1.99	○	○
15	軽トラック アームロール	脱着装置付コンテナ専用車	350	3.39×1.47×1.83	×	×
16	軽トラック	キャブオーバ	350	3.39×1.47×1.74	○ (H22年度燃費基準達成車)	×
				計	7 台	9 台

＊ 低燃費車 … 平成27年度基準燃費達成車、平成22年度基準燃費達成車
＊ 低排出ガス車 … 排ガスの平成17年規制適合車 及び それよりも排出量の低い車両

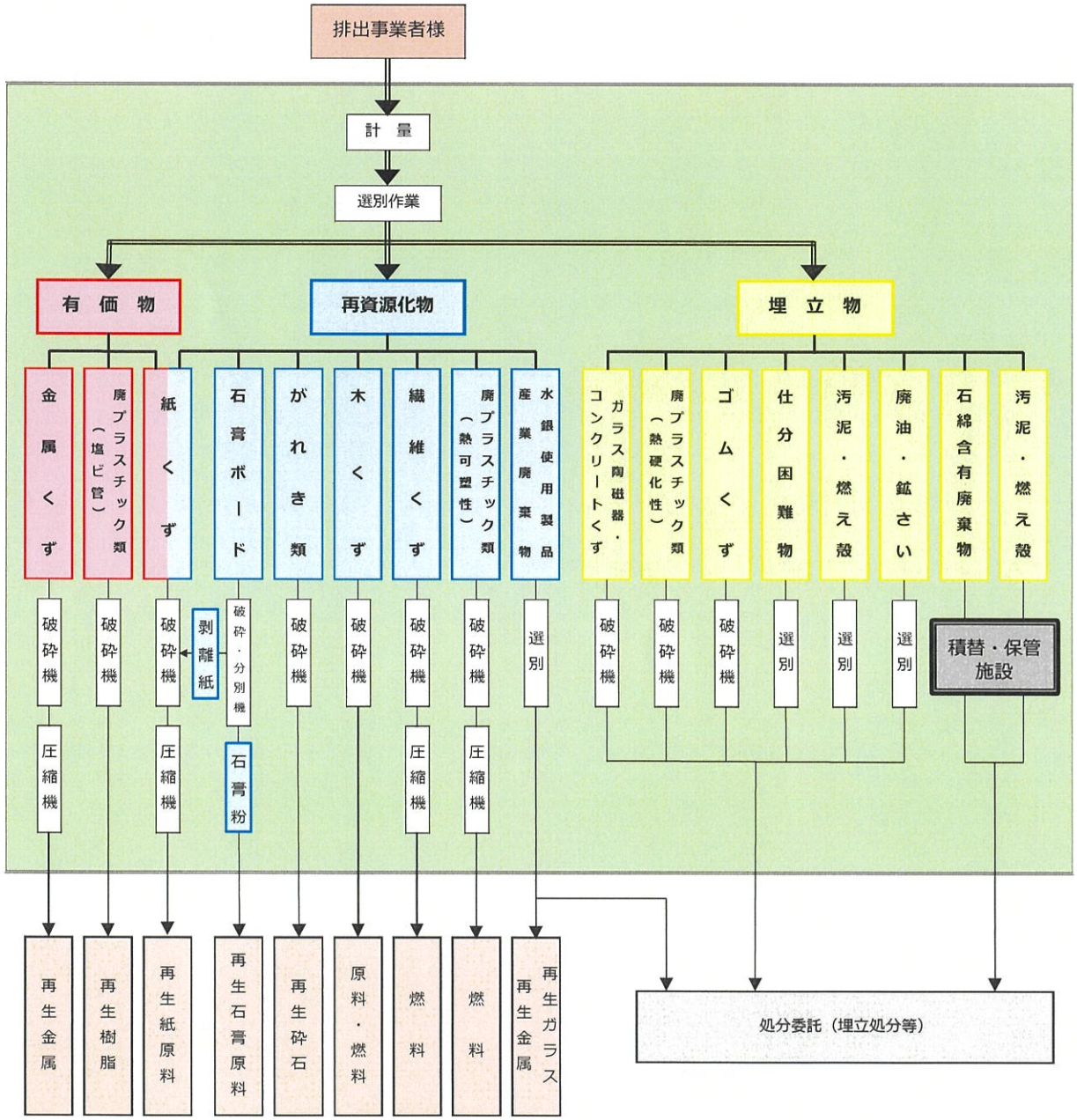
【その他 保有車両・重機】

・ 営業車	4 台	・ 場内清掃車	1 台
・ 油圧ショベル	19 台	・ 場内走行専用電気自動車	2 台
・ ホイルローダー	7 台	・ 2tダンプ	1 台
・ フォークリフト	1 台		

■ 産業廃棄物の中間処理工程

受付 ⇨ 計量 ⇨ 検品 ⇨ （手作業による粗選別）第一次選別 ⇨ （トロンメル等による機械選別）第二次選別 ⇨ （ベルトコンベアによる最終選別）第三次選別 ⇨ 品目別に仕分、保管 ⇨ 破砕作業、圧縮梱包作業 ⇨ 有価物・再資源化物・埋立物ごと、且つ品目別に保管 ⇨ 一定量に達した後、委託先へ搬出

■ 産業廃棄物の処理工程図



■ 処理実績

（ 1月 ～ 12月 ）

（ｉ）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量	
がれき類	t	3473.4000	
ガラス陶磁器くず	t	93.1200	
廃プラスチック類	t	193.9100	
金属くず	t	67.1200	
紙くず	t	5.8200	
木くず	t	219.2300	
繊維くず	t	0.0500	
石膏ボード	t	122.1100	
混合物	t	744.4200	
水銀使用製品産業廃棄物	t	0.4898	
石綿含有物産業廃棄物	t	22.3900	※
燃え殻	t	2.1000	※
合計	t	4944.1598	

（ⅱ） 中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量	
中間処理	がれき類	選別･破砕	t	311.2670	
	ガラス陶磁器くず	選別･破砕	t	505.5260	
	廃プラスチック類	選別･破砕、圧縮梱包	t	1341.6940	
	金属くず	選別、圧縮梱包	t	194.0590	
	紙くず	選別･破砕、圧縮梱包	t	42.6090	
	木くず	選別･破砕	t	326.8000	
	繊維くず	選別･破砕、圧縮梱包	t	7.2000	
	石膏ボード	破砕分別	t	473.1050	
	水銀使用製品産業廃棄物	選別	t	2.0455	
	仕訳困難物	選別･破砕	t	100.4200	
うち再資源化等	金属くず	選別等（再生金属）	t	193.3680	
	紙くず	選別･破砕等（再生紙原料）	t	36.0510	
	小計		t	229.4190	
合計			t	3304.7255	①

（ⅲ）最終処分

廃棄物の種類 ＼	処理方法等	単位	処分量
		t	
		t	
合計		t	

（ⅳ）中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処分量等	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス陶磁器くず	管理型埋立	t	488.7920	
		廃プラスチック類	管理型埋立	t	915.7320	
		石膏ボード	管理型埋立	t	76.8650	
		仕訳困難物	管理型埋立	t	99.6600	
		小計		t	1581.0490	②
		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等	
	中間処理（再資源化等）	がれき類	破砕（再生砕石）	t	300.4680	
		廃プラスチック類	破砕等（発電所・製紙会社の燃料 等）	t	436.0170	
		紙くず	圧縮等（固形燃料、製紙会社の燃料）	t	1.9800	
		木くず	破砕、破砕選別（燃料、チップ原料）	t	328.9810	
		繊維くず	固形燃料化	t	7.1300	
		石膏ボード	破砕等（再生ボード原料）	t	405.7520	
		水銀使用製品産業廃棄物	破砕、脱水銀化（再生ガラス・金属）	t	2.1892	
		小計		t	1482.5172	
合計				t	3063.5662	

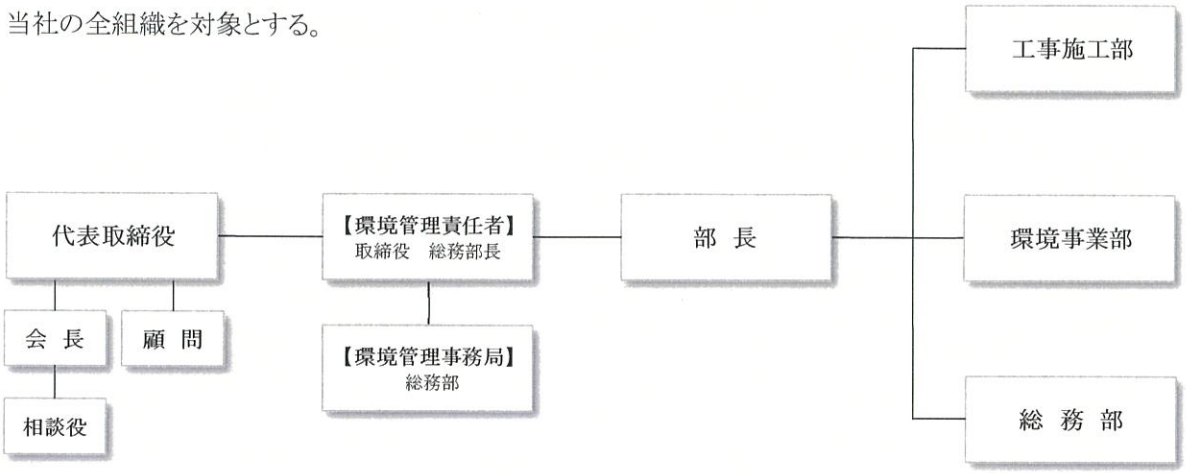
（ 産業廃棄物を受入れ、中間処理を行い搬出するまでにはタイムラグが生じる為、（ⅱ）=（ⅳ）とはならない。）

※ 石綿含有物、汚泥、燃え殻は積替保管のみで中間処理は行っていない。積替保管後は、委託先の処分業者により、収集運搬及び埋立処分を行う。

再資源化率（リサイクル率）＝（①－②）÷① とする。

3　環境経営組織図及び役割・責任・権限表

当社の全組織を対象とする。



	役割・責任・権限
【代表取締役】	・環境方針の策定・見直し及び全社員への周知 ・環境責任者の任命 ・環境資源(人・もの・資金)の調達 ・環境活動レポートのチェック
【会長】【顧問】【相談役】	・代表取締役の補佐、意見具申
【環境管理責任者】	・システムの構築、実施及び管理 ・環境関連法規等の遵守状況の評価 ・外部からの環境に対する総合窓口 ・教育訓練の立案と実施 ・システムの状況のとりまとめと報告

	役割・責任・権限
【環境管理事務局】	・環境活動項目のチェックととりまとめ ・環境関連法規等の情報収集 ・各種文書の記録及び管理 ・環境活動レポートの作成
【部長】	・各部の統括 ・外部からの環境に対する総合窓口 ・教育訓練の立案と実施
【全従業員】	・環境方針の理解と取組みの重要性を自覚する ・環境活動の決定事項を守り、自主的かつ積極的に参加する ・環境教育、訓練への参加

4　環境経営目標及び実績

項　目	単位	(2018年実績) 基準値	2023年 目標値	2023年 実績値	2023年 対目標値	評価	2024年 目標	2025年 目標
二酸化炭素排出量の削減 ※1	kg-CO2	285,643	285,643	266,354	93.2%	○	285,643	285,643
電力の削減	kWh	31,659	31,659	31,078	98.2%	○	31,659	31,659
二酸化炭素排出量	kg-CO2	14,943	14,943	14,669			14,943	14,943
車輌・重機燃料の削減 ガソリン	ℓ	8,005	8,005	6,685	83.5%	○	8,005	8,005
軽　油	ℓ	96,572	96,572	90,546	93.8%	○	96,572	96,572
二酸化炭素排出量	kg-CO2	267,727	267,727	249,118	93.0%	○	267,727	267,727
灯油使用量の削減	ℓ	1,194	1,194	1,031	86.3%	○	1,194	1,194
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,973	2,973	2,567			2,973	2,973
項　目	単位	(2018年実績) 基準値	2023年 目標値	2023年 実績値	2023年 対目標値	評価	2024年 目標	2025年 目標
一般廃棄物(可燃ゴミ)の削減	kg	245	245	102	41.6%	○	245	245
水資源の有効利用 ※2	m^3	(8,000)	(8,000)	7,560	94.5%	○	(8,000)	(8,000)
産業廃棄物再資源化の推進	%	58	50	52	104.0%	○	50	50
社員教育	回	−	3回以上	実施済		○	3回以上	3回以上
地域社会とのコミュニケーション、奉仕活動	回	−	2回以上	実施済		○	2回以上	2回以上
SDGsに取組む	−	−	取組む	実施済		○	取組む	取組む

※1　二酸化炭素排出量における購入電力の実排出係数は、0.472kg-CO2/kWh(2018年中部電力)を用いた。

※2　主に井戸水

＊　化学物質の使用は、生活系の洗剤・殺虫剤のみである。

5　2023年 環境経営計画

目　標		取組項目	担当部署
二酸化炭素排出量削減	＜電力の削減＞	空調温度の適正化（冷房時 室温28℃・暖房時 室温22℃）	総務部 環境事業部
		不要照明の消灯（事務室）	
		効率的な設備への切替検討	
		施設使用時のみ主電源ON(工場)	
		クール・ウォームビズの推進	
	＜車輌・重機の燃料の削減＞	アイドリング・ストップとエコ運転	工事施工部 環境事業部 総務部
		車輌・重機の定期・日常点検の実施	
		省エネ車輌・重機への切替検討	
		効率的な作業計画	
	＜灯油使用量の削減＞	空調温度の適正化（暖房時 室温22℃）	総務部 環境事業部
		ウォームビスの推進	
一般廃棄物の削減 （可燃ゴミ）		一般廃棄物　分別の徹底	総務部
		コピーカウント記録	
		電子化への対応	
		使用済み封筒等の再利用	
水資源の有効利用		計量メーターの定期管理	総務部
		地下水の有効利用	
（産業廃棄物）再資源化の推進		現場での分別解体の徹底	総務部 環境事業部 工事施工部
		廃棄物の徹底分別	
		整理整頓、場内整備	
		処理委託先の情報収集	
社員教育		安全大会の実施	総務部 環境事業部 工事施工部
		勉強会の実施（処理困難物・新建材、安全作業 等）	
		5S(整理、整頓、清掃、清潔、躾)の徹底	
		あいさつの徹底	
		各種記事情報の共有	
		情報共有とミーテイングの実施	
		記録・文書の作成、管理	
地域社会とのコミュニケーション、奉仕活動		視察会の実施	総務部 環境事業部 工事施工部
		清掃奉仕活動への参加	
		近隣道路の環境整備の実施	
SDGsに取組む		取組みの実施	総務部 環境事業部 工事施工部
		外部へのPR	
		全従業員への周知	
		情報開示	
		エコキャップ回収	

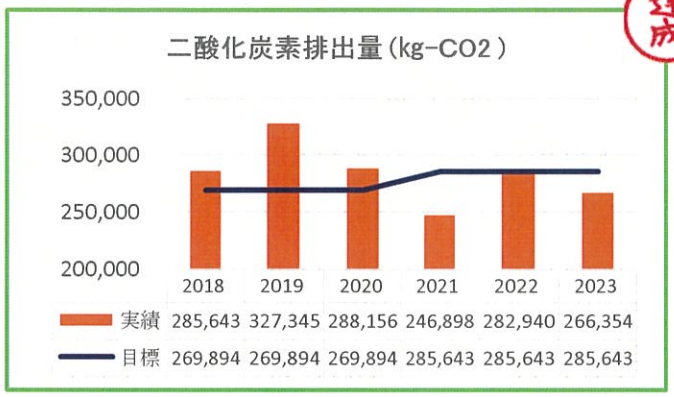
【 SDGs取組目標 】

〈参照〉

すべての企業が持続的に発展するために
－持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド－
［第2版］
令和2年3月　環境省

6　環境経営計画の取組結果及び評価、次年度の取組内容

■ 二酸化炭素排出量の削減



二酸化炭素排出量は目標を達成出来た事に加え、基準年とする2018年から5年間の平均値（286，196 kg-CO2）と比較しても約7％削減出来た。

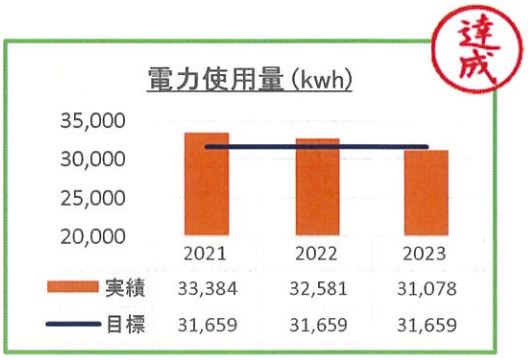
要因としては、二酸化炭素排出量の90％以上を占めるガソリン・軽油に於いての取組の成果が大きい。

それはまた社員の意識の変化がもたらした成果であると考える。

＜電力の削減＞

○80%以上実践　△60%～80%実践　×60%未満実践

取組内容	評価
空調温度の適正化	○
不要照明の消灯（事務所）	○
効率的な設備への切替検討	○
使用時のみ主電源ON（工場）	○
クール・ウォームビズの推進	○



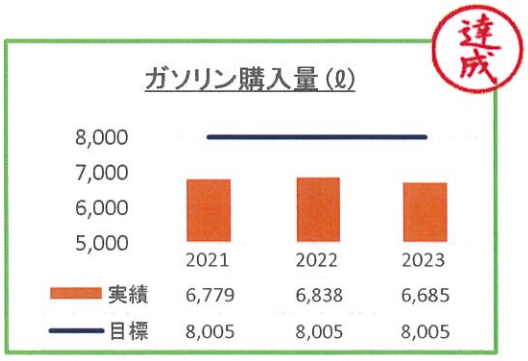
昨年の工場に続き、事務所・機材センター等もＬＥＤ照明への切替えを実施。

ＬＥＤ照明への切替えを6月に実施した結果、7月～12月は目標比 約10％削減と今までで一番の節電となった。

より自然な色合いで明るくなり、車両の点検作業や選別作業の効率向上に繋がっている。

次年度の取組内容　　変更なし

安全作業や体調を考慮しつつ節電に努める。



＜車輌・重機の燃料の削減＞

○80%以上実践　△60%～80%実践　×60%未満実践

取組内容	評価
アイドリング・ストップとエコ運転	○
車輌・重機の定期・日常点検の実施	○
省エネ車輌・重機への切替検討	○
効率的な作業計画	○

車両点検の実施や、エコドライブ、効率的な作業計画とその実施によって、環境に配慮した状況を作っている。

次年度の取組内容　　変更なし

点検を励行して車輌を適切に維持・整備し、安全第一で取組む。

＜灯油使用量の削減＞

○80%以上実践 △60%～80%実践 ×60%未満実践

取組内容	評価
空調温度の適正化(暖房時 室温22℃)	○
ウォームビズの推進	○

暖冬の影響も考えられるが、2015年からの本格的な統計開始以来 最少量となった。
ＳＤＧｓに取組んでいる中、適切な温度管理が出来ている。

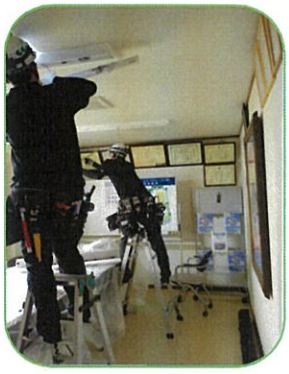
次年度の取組内容　　変更なし
取組よりも気候に大きく反映されところではあるが、体調に無理がないよう適切な温度管理を行う。

LED照明への切替え

事務所内、工場内、機材センター等、昨年に引き続き全てＬＥＤに変更。
ＬＥＤ照明のメリット
・省エネ　・低発熱量　・紫外線フリー　・瞬時点灯　・環境改善

＜作業前＞　＜作業中＞　＜作業後＞

会議室



工　場
（昨年の未着手分）

機材センター

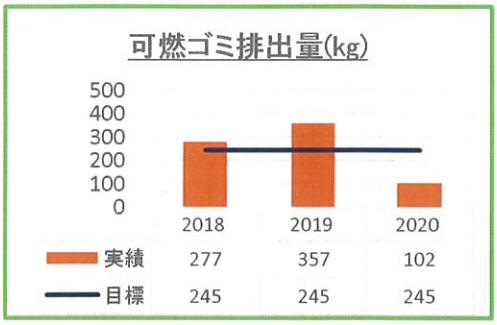
■ 一般廃棄物(可燃ゴミ)の削減

達成

○80%以上実践 △60%～80%実践 ×60%未満実践

取組内容	評価
コピーカウント記録	○
一般廃棄物 分別の徹底	○
電子化への対応	○
使用済み封筒等の再利用	○

毎年行っている書類の整理・入替え後の処分が未着手の為、大幅な減少となった。
2023年よりプリンターカウント記録を実施。55,479 枚であった。継続して記録する。



次年度の取組内容　変更なし
コピーカウントを意識し、節減に取組む。

■ 水資源の有効利用

達成

○80%以上実践 △60%～80%実践 ×60%未満実践

取組内容	評価
計量メーターの定期管理	○
地下水の有効利用方法の検討	○

日々の清掃の他、散水や融雪水としての利用等、幅広く活用している。

次年度の取組内容　変更なし
引続き計量メーターの定期管理を実施し、更なる利用方法を検討していく。

■ 再資源化の推進

達成

○80%以上実践 △60%～80%実践 ×60%未満実践

取組内容	評価
現場での分別解体の徹底	○
廃棄物の徹底分別	○
整理整頓、場内整備	○
処理委託先の情報収集	○

目標を「再資源化率の維持」から「再資源化の推進」に変更した。
熱硬化性廃プラスチックが2022年と比較して約12%増加した一方、再資源化率は僅か0.4%の減少に留まり51.99%であった。
取組みとしては、処理委託先へ定期的に訪問し、より再資源化に繋げられるように情報収集をしている。
同時に、解体現場においても分別を徹底している。環境を整えて分別・選別の徹底に努める。

次年度の取組内容　変更なし
工場内の整理整頓を心がけ、分別のしやすい環境を整えて分別・選別の徹底に努める。

■ 社員教育

社員教育の実施…年3回以上

達成

○80%以上実践 △60%～80%実践 ×60%未満実践

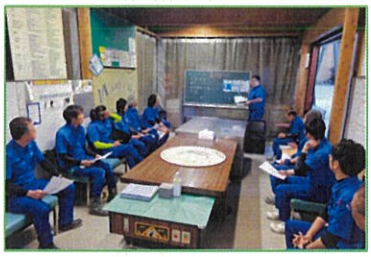
取組内容	評価
安全大会の実施	○
勉強会の実施(処理困難物・新建材、安全作業 等)	○
5S(整理、整頓、清掃、清潔、躾)の徹底	○
あいさつの徹底	○
各種記事情報の共有	○
情報共有とミーテイングの実施	○
記録・文書の作成、管理	○

次年度の取組内容　「資格取得の推進」追加
個々の更なるスキルアップの為、積極的に資格取得を目指す。

安全大会

安全大会を実施。各部の決意表明、安全衛生研修会等を行う。
2023年のスローガン『魅せる志事を！』を発表。
三訓（法令遵守･地域貢献･安全作業）を軸に活動を継続することを確認。
石綿則の改正により問合せや契約等増加傾向にある。他社との差別化を図るためにも確実に対応する旨、周知する。

夏季訓示会



夏季訓示会を実施
① 交通安全について
② 夏季健康対策について
③ 新型コロナウィルス感染症及び熱中症対策について

勉強会

勉強会や安全作業の確認
・問題形式にて定期的にテスト実施
・産業廃棄物関連法等について

資　格

・**【一般建築物石綿含有建材調査者】　２名　取得**
法改正により2023年10月1日以降、建築物の解体･改修などの事前調査は建築物石綿含有建材調査者資格を有する者の調査が義務付けられるため。
現在　５名取得

・**【ＪＲ東海　工事従事者資格　重機械運転者】　４名　合格**
鉄道近接工事などの現場で重機械を運転するために必要。

■ 地域社会とのコミュニケーション･奉仕活動

奉仕活動等の実施 … 年2回以上

達成

○80%以上実践　△60%～80%実践　×60%未満実践

取組内容	評価
視察会の実施	○
清掃奉仕活動への参加	－
近隣の道路清掃（側溝掃除、草刈り･除雪作業等）の実施	○

次年度の取組内容　「清掃奉仕活への参加」削除
コロナ禍の影響により状況が変化したため、項目から削除する。
但し、要請があれば適切に対応する。

＜視察会の実施＞

場内視察

事業説明･意見交換会

第13回 近隣町内会の視察会及び意見交換会を6月4日（日）開催。４年振りに規模を縮小して実施。
近隣3町内会の役員等12名が参加。
場内視察と会議室での事業内容の説明並びに質疑応答等の意見交換会を行った。
施設の運営に関して地域の同意が必要であり、今後も継続予定。

＜奉仕活動等＞

3月、5月に国道から場内への導入路の草刈りと側溝掃除を実施。また冬季には除雪作業等を実施。
花壇整備や場内整備、美化活動など積極的に取り組んでいる。
今後もお客様や近隣の農業関係者の方等多くの方に快くご搬入頂けるよう心掛ける。

側溝掃除

3月実施

草刈り

5月実施

花壇整備

5月実施

■ SDGsに取組む

達成

○80％以上実践　△60％～80％実践　×60％未満実践

取組内容	評価
取組みの実施	○
外部へのPR	○
全従業員への周知	○
情報開示	○
エコキャップ回収	○

次年度の取組内容　変更なし
これからも持続可能な取組みを模索し活動する。

岐阜県

高山市

ＳＤＧｓ宣言や活動内容が認められ、
○ 岐阜県「清流の国ぎふＳＤＧｓ推進パートナー」
○ 高山市「飛騨高山ＳＤＧｓパートナー」に登録。
社外へ発信する良い機会となった。

7　代表者による全体評価と見直し・指示

「二酸化炭素排出量の削減」の活動目標において初めて全ての目標を達成でき、大変に嬉しく思う。日々の努力や活動は確実に定着してきていると感じる成果であった。

4年ぶりに近隣町内会の方への視察・意見交換会を実施。産業廃棄物処理業は、近隣町内会の方々のご理解が必要不可欠である。今後も丁寧な説明を心掛けコミュニケーションを図るとともに、地域社会に貢献していきたい。

挨拶や５Ｓ活動（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の徹底及び安全作業など、自分達の強みとなる点を更に磨き、社員一人一人が主体的に考え行動できるようにすることで会社全体をより一層向上させていきたい。

■ 環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
■ 環境経営目標・計画	□ 変更なし	☑ 変更あり
■ 実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり

8　環境関連法規の遵守状況、法違反、訴訟等の有無

法規制・条例の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	許可期限の確認、委託契約書・マニフェストの適正管理 等	遵　守
騒音規制法	条例基準値 70dB 以下	遵　守
振動規制法	条例基準値 65dB 以下	遵　守
大気汚染防止法	条例基準値 浮遊粒子状物質濃度 0.2mg/m^3 以下	遵　守
水質汚濁防止法	条例基準値 pH(水素イオン濃度) 6.0～8.5 等	遵　守
悪臭防止法	22物質の規制基準値以下	遵　守
計量法	計量器の点検	遵　守
建設業法	許可の有効期限 等	遵　守
建設リサイクル法	解体工事時の分別等および再資源化等の実施 等	遵　守
労働安全衛生法	石綿障害予防規則の対応	遵　守
フロン排出抑制法	第一種フロン類回収業者への引渡義務等・書面の交付 等	遵　守
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	高濃度PCB廃棄物の適切な処理 等	遵　守
道路交通法	車両点検整備の義務 等	遵　守
道路交通法施行規則	酒気帯びの有無の確認 等	遵　守
オフロード法	基準に適合した特定特殊車両の使用 等	遵　守
自動車NOx・PM法	対策地域内運行時の車両の選定 等	遵　守
消防法	指定可燃物の届出 等	遵　守
古物営業法	古物商営業の許可申請	遵　守
岐阜県使用済金属類営業に関する条例	許可の有効期限 等	遵　守
岐阜県廃棄物の適正処理等に関する条例	委託先での処理状況確認	遵　守
高山市屋外広告物条例	屋外広告物の届出	遵　守

環境関連法規への違反はありません。
関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。また、外部関係者からの苦情・訴訟等もありません。

加盟している 一般社団法人 岐阜県解体工事業協会 及び (一社)岐阜県産業環境保全協会は、岐阜県と災害時の協力に関する協定を締結。また、高山市と「震災・水害等の災害廃棄物の処理等協力に関する協定」を締結。

9　その他の活動

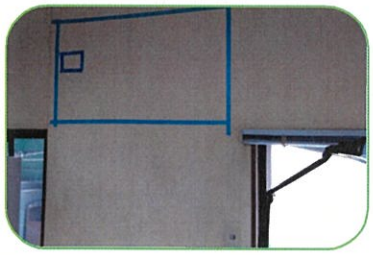
緊急事態訓練

４月に火災発生を想定し、消火ホースによる消火訓練を実施した。訓練実施後、ホースの長さを把握出来るよう目印をつける等改善した。
また、異常時管理手順書を見直し、「安全衛生管理規定」・「異常時管理マニュアル」を修正し集約した。
訓練の実施と共に、火災が発生しないよう整理整頓を心掛け、日々業務を行う。

防犯・監視カメラの変更

防犯・監視カメラを変更し、新たにモニター1台追加。
・業務効率化　・生産性向上　・安全性の確保　・防犯対策

＜設置前＞



＜設置後＞

場内整備

＜樹木の剪定＞

＜看板修繕＞

＜通路補修＞

感謝状

エコアクション２１中央事務局より
長年環境に配慮した事業活動に
取組んでいる事に対して
永年継続事業者の感謝状を頂く。

外部へのPR

高山市の情報誌や、お客様に配布する
チラシ等に解体工事等の特集を掲載。
今後も地域貢献できるよう尽力する。

2023年度 環境経営レポート

発行日：2024年2月29日
改訂日：2024年3月27日

MARUTAKE
有限会社丸武産業

〒506-2123 岐阜県高山市丹生川町町方3480番地1
TEL 0577-78-2555 FAX 0577-78-3053

エコアクション21
認証番号0011482

URL http://www.marutakesangyo.jp/
E-mail info@marutakesangyo.jp